

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）会議録
開催日時	平成29年2月20日（月）14時40分から16時15分まで
開催場所	防災センター6階 講座室1
出席者	委員：内田議長、木下副議長、岩崎委員、川崎委員、須永委員、沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野（真）委員、矢野（尊）委員 事務局：岡本課長、神田係長、奥住主事
議題	(1) 今後の活動について (2) その他 ①社会教育委員研修会（3/3）について ②社連協理事会（2/14）報告
配布資料	資料1 運協へのアンケート質問事項（メモ）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成29年1月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 今後の活動について</p> <p>○議長：前回会議で、活動テーマを放課後子供教室についてということで話がまとまった。そして2月6日に打合せ会を行い、まずは学校施設開放運営協議会（以下「運協」）への調査をすることとなった。資料1「運協へのアンケート質問事項（メモ）」を作っていたので、説明をお願いします。</p> <p>●委員より、資料1「運協へのアンケート質問事項（メモ）」に沿って説明。</p> <p>○委員：活動テーマについて意見がある。これまで我々西東京市の社会教育委員の会議は「循環型地域学習社会」をテーマとして掲げ、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の会長市や第4ブロックの幹事市として活動してきたが、総括するこ</p>	

となく今に至っていると思う。ブロック研修会後も、良かったという声はあったが、それはあくまで個人の感想レベルの話であり、具体的な総括はしていない。この機会に、これまで取り組んできたテーマについての分析や総括をしてはどうか。皆の意見を伺いたい。

○議長：意見はあるか。

○委員：これまでの活動の総括は必要かと思う。

○委員：放課後子供教室も、循環型地域学習社会とかけ離れたものではないと思う。

○委員：新しい形の社会教育や生涯教育といった切り口が求められるかなと思う。「放課後子ども総合プラン（文部科学省）」を確認したところ、その中には放課後子供教室と放課後児童クラブについての国の方針が決められており、その先は各自治体の状況に合わせて実施するという内容だった。

○委員：社会教育委員の会議の活動としては、教育委員会（教育長）からの諮問に対して提言する場合と、社会教育委員として現状を踏まえ、何が必要なのかを考えて提言する場合がある。皆の合意であれば、どちらの形でも良いと思う。

○委員：大きいテーマの「循環型地域学習社会」の中で、具体的な例として「放課後子供教室」を見ていくという方向で良いのではないか。

○委員：放課後子供教室自体をどれだけ多くの方が知っているかにもよるのではないかと思う。

○委員：放課後子供教室に対する理解は個々の差があると思う。現実には何かをベースにして地域づくりを考えていくとなると、我々は放課後子供教室について社会教育委員として提言してきた経緯もあるので、積極的に進めていくことが必要だと思う。

○委員：放課後子供教室について調査をするのであれば、うまくいっていないところは、何が原因でうまくいかないのかななどを精査して、対策等を考えるべきではないかと思う。また、うまくいっているところも、次の継承者はいるのか、5年後10年後も継続できるのか等が見えてきたら良いと思う。もし継続が難しそうであれば、実績もあり必要とされているものにもかかわらず、継続できない原因はどこにあるのか、またその原因に対し社会教育委員として何ができるのかが見えてくるのではないかと思う。アンケートの中身を精査して、地域ごとの実態と可能性についても分かるようにしたら良いと思う。

○委員：今のような話を提言としてまとめたら良いと思う。

○委員：推測で議論をしても結論には至らないと思う。物事は集約して精査し、無駄なものを削いでいかななくてはいけない。今出ている提案についてだが、提言というのはいくつかパターンがあり、理念を語るものや創造的な提言をするもの、実証的な検証をするものなどがある。理念を語るのは相当大変で、クリエイティブな提案をするのはさらに大変である。これまでの会議で議論してきたのは、過去の提言を検証しようということだったと記憶している。狭いところに焦点を絞って検証していかないと、事実が見えなくなってしまうので、そのツールの1つとして放課後子供教室を用いるということが良いと思う。これまで社会教育委員の会議から出した提言も踏まえて、それが実際にはどう作用しているかの評価を、社会教育委員が限られた時間の中でやるという意味では、資料1は説得力があり妥当であると思う。調査の方法については、アンケートは可能かどうかや、もしかしたらインタビューの方が良いかもしれないといった

議論が出てくると思う。また、18校全校で実施するには教育委員会からのバックアップが必要である。実態を客観的に調査し、その実態に応じて議論すべきである。放課後子供教室を知っているかどうかについては関係なく、むしろそれを明らかにすることが実証なのであり、どんな話を聞いたとかではなく、実際にどうなのかが重要である。テーマ自体は「循環型地域学習社会」でも良いと思うが、調査をする上でのツールとして放課後子供教室を用いるという捉え方が良いと思う。

- 委員：まずは、提言を踏まえた実態の調査をするということで良いと思う。
- 委員：小さいところから調査を始めても広がっていくと思う。18校もあるので、まずは調査し実態を知るところからが良いと思う。
- 議長：テーマ等を確定するのは先にし、まずは放課後子供教室を1つのツールとした実態の調査をすることとする。
- 全委員：異議なし
- 議長：それでは具体的な方法論について議論する。意見はあるか。
- 委員：アンケートだと自由記述となるが、運協の方にはどの程度書いていただけるだろうか。インタビューの方が取り組みやすいのではないか。
- 委員：アンケートだと、その人の理解によって回答に大きく差が出ると思うので、インタビューが良いと思う。
- 委員：インタビュー形式にすれば、臨機応変に話を広げることができるので良いと思う。
- 委員：インタビューにすることで、社会教育委員と運協の相互のやり取りが生まれ良いと思う。
- 委員：運協はどこも同じように放課後子供教室について精通している方がいるものなのか。輪番制で会長等を担当しているとも聞いたことがある。
- 委員：運協ごとに差はあると思う。会長指名で取材を依頼するのではなく、あくまで運協全体への取材として依頼をすれば、分かる方が出てきてくれるのではないかと思う。
- 委員：運協の方は、これまでの社会教育委員の提言を知っているのだろうか。
- 事務局：継続的に周知しているわけではないので分からない。
- 委員：各運協によって違うと思う。
- 委員：知られていなければ、読まれていなかったという実態が分かるのでそれで良いと思う。
- 委員：インタビュー時の質問項目については皆で精査したい。どの小学校を担当するかの分担は正副議長で決めてもらい、後日提示をお願いしたい。
- 議長：事務局とも相談し、分担等については後日提示する。また、どのような取組をしているかどうかに関わらず、18校全校で調査を実施するというところでよろしいか。
- 全委員：異議なし
- 議長：3月2日に打合せ会を開き質問項目等について話を進めたいと思う。各自日程の調整をお願いする。

## (2) その他

- ①社会教育委員研修会 (3/3) について

- 事務局より報告、説明。
- 議長より、当日の役割分担について調整。
- 議長：研修会は10時開始なので、当日は9時30分に集合とするがよろしいか。
- 全委員：異議なし
- 議長：当日は各自役割のとおりをお願いします。
  - ・司会…木下副議長
  - ・挨拶…内田議長
  - ・受付…原委員、森田委員
  - ・講師接待…内田議長、木下副議長、川崎委員

②社連協理事会（2/14）報告

- 事務局より、東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会について報告。

※東京都市町村社会教育委員連絡協議会平成29年度定期総会について

- 事務局より説明。
- 議長：総会は4月22日に開催される。3月定例会にて出欠の確認をするので調整をお願いします。

※第48回関東甲信越静岡社会教育研究大会静岡大会における分科会での事例発表の希望について

- 議長：分科会事例発表について、西東京市は希望無しで回答をするということによろしいか。
- 全委員：異議なし

- 議長：それでは以上で社会教育委員の会議2月定例会を終了する。

※次回会議 平成29年3月13日（月）午後2時から